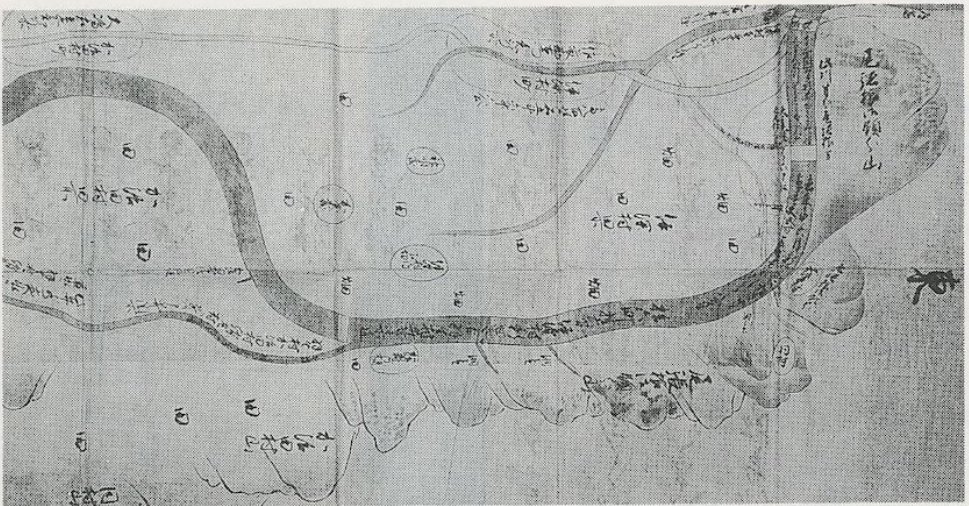


江戸時代、伊深村と羽生村（現・富加町）ではそれぞれ川浦川から用水を引いていました。ところが水不足に困った伊深村が新しく堰せきを設けようとしたため争いとなりました。そこで勘定奉行などが評議した結果、両者に裁定を下し、今後一切、堰の新設を認めないこととしました。

左の絵図（市教委蔵）はこの裁定書の裏に書かれているもので、従来の「牛牧堰うしまき」が明記さ



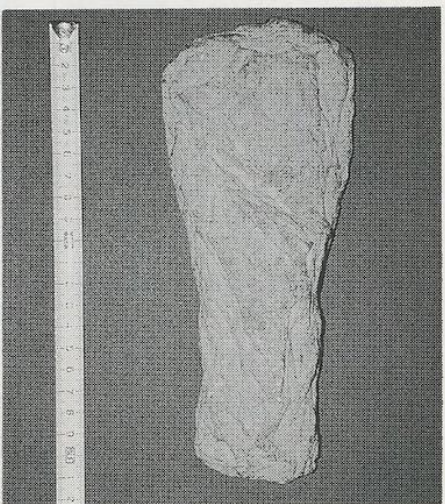
れ割印がされています。

今から約三百八十年前、寛文九年のことです。

今回は、次の方々から貴重な資料を寄贈いただきました。ありがとうございました。

- 平成五年四月分、五月分
- 大型打製石斧ほか考古資料
十点

（猪子豊治さん／太田本町）



- はかり類 二点

（山登ゴムさん／本郷町）

- 古書類 十八点

（福地康弘さん／加茂野町）

- 坪内逍遙関係資料 二点

（財・逍遙協会／東京都）

- 坪内逍遙記念はがき 二枚

（西山喜洋さん／島町）

近い将来の博物館建設に向けて情報や資料を集めています。資料は見せていただくだけでも結構ですので、市社会教育課博物館建設係（内線362）まで情報をお寄せください。